

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月16日

協議会名: 大槌町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
<p>大槌地域振興株式会社</p>	<p>【運行系統名】 金沢小廻線(5系統) 循環線(1系統) 【実施期間】 令和4年10月1日(土)～令和5年9月30日(土)</p> <p>・町民バスの運行について、利用者のニーズに合わせた起終点の変更や、より効率的な配車及び運行を実現するために路線の再編を行う。 ・町民バスについて、国の基準にのっとりつつ低床バス車両(ノンステップバス等)の導入による車両の更新を検討する。</p>	<p>【前回の評価結果】 (1)一次評価 ・住民説明会や住民アンケートの結果、公共交通に関して期待する点は「町民バスと県交通バスの接続をよくする」が最も多く挙げられた。そのため、それぞれのダイヤ改正に係る連携を強化し、わかりやすい公共交通時刻表の作成、情報発信など、利用者増加に向けて取り組んでまいります。 また、三陸鉄道を利用したの通学、通勤を促進するため、適宜、ダイヤの見直しを検討し、鉄道との接続についても利用者増加に向けて取り組んでまいります。 (2)二次評価 ・地域公共交通計画に基づき幹線・支線のネットワーク強化やダイヤ見直しを検討していること、時刻表デザインの実施したことを評価します。 一方、数値目標が達成されなかったことについては、新型コロナウイルスや人口減少以外の観点から分析を加えていただき、今後の施策を検討することを期待します。</p> <p>【評価結果の反映状況】 適切なダイヤ改正等を実施するため、公共交通利用実態調査を実施し、町民バスの利用状況等の分析を行いました。 調査結果等に基づきダイヤ改正を実施する予定でしたが、途中、地域間幹線バスのダイヤ改正があったことから、改めてダイヤの検討を実施しました。 現在は、令和6年4月にダイヤ改正を実施できるよう、準備を進めております。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【目標値】 ①町民バス(路線バス)の収支率を20%以上 ②町民バス(路線バス)の1便平均乗客人数を4.0人/便以上</p> <p>【実績値】 ①12.0% ②3.6人/便</p> <p>【達成率】 ①60.0% 評価C ②90.0% 評価B</p> <p>収支率については、昨年度実績と比較すると減少しているとの高騰が影響していると考えられます。 平均乗客人数については、令和5年度より新たに設定した指標であり、目標値に占める達成率は90%となっております。 引き続き、目標値に達するよう、利用者増加に向けて取り組みまいります。</p>	<p>収支率については、昨年度比で減少しております。これは主に、燃料費等物価の高騰の影響を受けているものと推測されます。 今後においては、物価高騰の影響となる社会情勢等に注視しつつ、乗降調査や利用者ニーズを的確に捉え、ダイヤの見直し等運行内容を検討し、収支改善に寄与するよう努めてまいります。 一方で、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、利用者数に増加の傾向が見られることから、情報発信等により更なる利用者の増加に取り組んでまいります。</p>
<p>二次評価</p>		<p>・利用実態調査等を実施し、ダイヤ改正等の改善の取組につなげている点、評価します。 ・引き続き、効果的な情報発信を検討し、新規需要の掘り起こしを含む利用促進を図ることを期待します。</p>			